

# 中小企業組合NAVI



やまなしの中小企業と組合の羅針盤

特集

## 中央会常任理事会を開催

県の産業振興施策から  
～ビジネスチャンスをつかむ～



昭和36年4月10日第三種郵便物認可  
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

定価 100円

### 目次

- P2~3 【 特 集 】... 中央会常任理事会を開催
- P4~5 【 景 況 】... 月次景況調査報告
- P6~7 【 取材記事 】... 組合 / 関係団体等の活動紹介
- P8 【 取材記事 】... 企業経営者にインタビュー
- P9 【ものづくり補助金】... (株)大滝の「ものづくり補助金」活用事例紹介

- P10 【 施策情報 】... 人材育成のための訓練経費への助成金を紹介
- P11 【 情報BOX 】... 親睦ゴルフコンペ・中小企業組合士検定試験案内
- P12 【 情報BOX 】... アビリンピックやまなし開催案内 中央会職員採用・退職

読みやすく判別しやすい「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています

発行所

山梨県中小企業団体中央会

甲府市飯田 2-2-1 中小企業会館 4 階 / TEL 055(237)3215 / FAX 055(237)3216  
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp / e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



令和6年度 常任理事会を開催

県の産業振興施策からビジネスチャンスをつかむ

常任理事制度は、昨今の急激な中小企業をめぐる環境変化に対応するため、組合等への支援体制などの中央会の運営に関する意見を会長に具申する目的で令和3年より設置されている。7月30日(火)16時より甲府市・シャトレゼホテル談露館で、令和6年度常任理事会を開催し、常任理事のほか執行部役員13名が出席した。山梨県からは講師の有泉清貴山梨県産業政策部長と小林洋一産業政策部次長、株式会社商工組合中央金庫村上洋司甲府支店長も同席した。



講演では、有泉部長が「令和6年度 山梨県の産業振興施策について」と題し、県の施策説明を行った。社会情勢の変化に強い経済基盤の構築に向けた動きを推進するとして今年度の産業振興施策については、「物流基盤の強化に関する条例の制定」、「事業継続力強化計画策定支援事業」、「事業承継の推進・経営後継者の育成」、「DX推進支援専門家派遣事業」、「人材確保に対する支援」や産業分野ごとの施策として「やまなしイノベーション創出事業費補助金」、日本酒、ワイン、ジュエリー、伝統工芸品への支援などの施策が説明された。



中央会 栗山会長

講演の要旨は次のとおり。



山梨県産業政策部  
有泉清貴部長

① 共通施策

- 再配達削減、ドライバーの人材確保・労働環境改善、県内物流関連事業者の利用促進を盛り込んだ「物流基盤の強化に関する条例」を全国に先駆けて6月に制定。
- 「事業継続力強化計画策定支援事業」は自然災害や感染症など経営リスクへの対応力を強化するために中小企業者が行う計画策定を支援。
- 事業承継・引継ぎ支援センターがワンストップで支援する事業承継の促進では、「事業承継リスタート推進事業」で後継者等に対して経営スキルについて学ぶ機会や交流する機会を提供。
- 「DX推進支援専門家派遣事業」は、ヒアリング訪問の上、DX推進計画作成とデジタル技術の導入に専門家を派遣。
- 人材確保では、就職説明会や学校との情報交換会、職場見学会などを通じて企業と人材とのマッチングを支援。

② 産業分野ごとの施策

- 成長産業の育成では、医療機器（メディカル・デバイス・コリドー構想）と水素・燃料電池に、今年新たに航空・宇宙分野を追加。
- 県内企業の競争力の強化や地域の原動力と成る小規模事業者の活性化を目的とした「やまなしイノベーション創出事業費補助金（研究開発）（経営計画等）」
- 県産酒（日本酒・ワイン）の海外プロモーションに助成。ジュエリー・伝統工芸品の需要開拓や後継者育成を支援。
- スタートアップ支援拠点の整備と資金調達支援。



商工中金 村上洋司支店長

意見交換会では、常任理事及び執行部役員から各業界の状況や取組内容、課題について発言があった。それを受け有泉産業政策部長からは、「皆様から大変参考となるお話をいただきました。来年度予算は今夏から検討に入りますので、ぜひご提案をいただければと思います。県政推進に変わらぬご理解ご協力をお願いします。」と述べ、村上商工中金甲府支店長は、「組合と組合員のための金融機関である商工中金では、BCPや事業承継、スタートアップなど制度に合わせた融資制度や支援メニューを用意しているのでぜひご相談いただきご活用ください。」と感想を述べた。

## 意見交換会の発言内容は次のとおり。

### 木材製造

施策もあって大規模建築物の木造化が進んでいる。CO2の削減・吸収の循環サイクルに貢献する木材産業の振興に向け取り組んでいる。

### 砕石

若者への魅力が少ない業界であり、人材募集しても来ない。採取しても余ってしまう石の処理が課題。

### 自動車整備

電気、ハイブリッド、水素など新たな技術への対応、会員への教育、機械・技術の提供、顧客PRや事業承継にも取り組んでいる。人材確保では年間で高校10校を訪問し業界の魅力を発信。

### 野菜小売

組合員の高齢化、後継者不足、縮小傾向にある組合活動の活性化が課題。今後は公共施設への納入拡大を検討。

### 金融機関

合併20周年を迎える。組合法に基づく信用協同組合は業域・職域・地域に特化した信用組合もある。当組合は地域に根ざした金融機関であり、地域の皆さまをしっかりサポートしていきたい。

### 印刷

業界では価格競争から価値競争へをキーワードに事業展開している。お客様の広報の相談に、デジタルと紙をミックスして訴求力を高める。それぞれが高額な同じ設備を持たず、強みを持ち寄って業界を1つのファクトリーとして展開していく考えもある。

### 酒類製造

海外からのオファーが増えている。日本で飲まれる酒の全体量のうち日本酒が占めるのは4%。国内の需要拡大と県産米を使った酒造りなど地産地消を推進していきたい。

### 伝統工芸品

観光物産が大打撃を受けたコロナ禍で今までの一つ一つの事業を見直すことにより、経営体質が筋肉質になってきている。新製品開発を継続しつつ、情報発信し業界を発展させたい。

### 運輸

県の施策で毎年脳ドッグへの補助があり、会員各社大変ありがたく感じている。人材不足にあって、賃上げも遂行しつつドライバーが健康で長く従事することを重視。対象者にいきわたるような施策設計をお願いする。

### 女性経営者

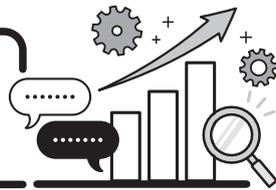
異業種で個人会員が集まる当団体は、会議等での色々なアイデアが出るため、有意義な情報交換ができています。

終了後、料理を囲んでの懇親会が行われ、栗山会長は「本日の有泉部長の施策説明の中には、数々のビジネスチャンスの芽が含まれていたかと思います。業界や組合の垣根を超えた情報交換と親睦の場であります常任理事会での懇談を通じて、実力に運と機会を結びつけつつ、ともに明るい未来に進んでいきましょう。中央会は、今日いただきました意見や要望を運営・活動の参考にしつつ、山梨県の支援も得ながら会員からの意見を集約し、皆で力を合わせて様々な課題解決に取り組む所存です。」と挨拶を述べた。常任理事および執行部役員と来賓、中央会指導員による情報交換と懇親交流が行われる中で和やかに進行し、常任理事会を閉会した。



懇親会

データから見た  
**業界の動き**



**6月報告のポイント**

**非製造業ではすべてのD.I値が低下  
価格転嫁に苦慮する事業者の声が多数**



6月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で  
**売上高 ▲2ポイント**【6ポイント↓】  
**収益状況 ▲4ポイント**【10ポイント↑】  
**景況感 ▲4ポイント**【6ポイント↑】  
 となり、収益状況・景況感が前年同月を上回った。

※【 】内は前年同月との比較です



**製造業では…**

**売上高 ▲25ポイント**【10ポイント↓】 **収益状況 ▲5ポイント**【30ポイント↑】 **景況感 ▲15ポイント**【20ポイント↑】

「売上げが多少増加しても、製造に係るコスト上昇分を補えない（骨材・石工品等製造業）」や、「主要取引先への価格転嫁が進まない（紙製造業）」など、収益状況D.I値は上昇した（+30ポイント）ものの、製造業全体の傾向とは言えない。

また、「戸建て住宅数の減少・木材価格の高止まりの状況がいつまで続くのか、先行きは不透明である（木材・木製品製造業）」や「半導体関連の受注量は底打ち感があり状況は好転するほかないと予測しているが、厳しい状況は変わらない（電気機械器具製造業）」など、数値上昇（景況感+20ポイント）の半面、事業者のコメントでは先行きを不安視する声が多かった。

**非製造業では…**

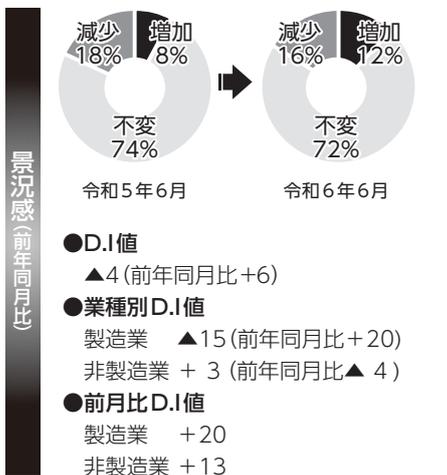
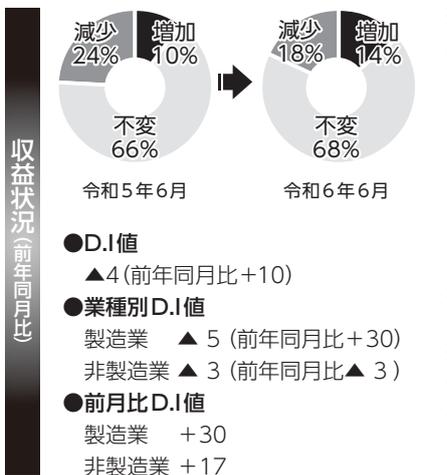
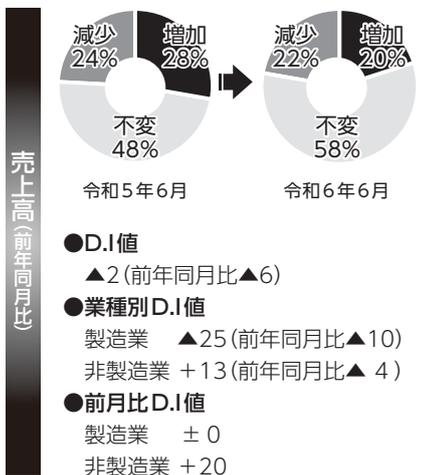
**売上高 +13ポイント**【4ポイント↓】 **収益状況 ▲3ポイント**【3ポイント↓】 **景況感 +3ポイント**【4ポイント↓】

5月に引き続きすべてのD.I値が前年同月を下回った。夏に向けてイベント開催・人流の増加が予測される中で、宿泊業では需要に応えられるだけの人員・体制を構築できるか懸念しており、「アルバイト希望者は多いが、正規従業員の雇用は厳しい状況が続いている（警備業）」や「ドライバー不足により受注を断らざるを得ない状況である（バス運送業）」など、人手不足が売上回復の足かせとなっている。

また、「製造原価が前年と比べ50%ほど上昇しているが、価格転嫁が進まず収益状況は悪化する一方である（ジュエリー製品卸売業）」や、「県内では請負単価が安いいため、価格転嫁が進んでいる首都圏まで仕事に行く事業者もある（型枠大工事業）」など、非製造業全体で十分な収益確保が進んでいない状況が続いている。

「加工単価・従業員の賃金上昇分の転嫁については交渉の土台にすら上がらない（電気機械器具製造業）」や、「組合員が取引先に契約料金の値上げ交渉を持ちかけた結果、提示した見積額以下の他事業者の見積りがあることを理由に、協議も行わず値上げ交渉は決裂・契約解除となった（廃棄物処理業）」を例に、製造業・非製造業を問わず、すべての業種で価格転嫁に苦慮している。

中央会では、厳しい経営環境を乗り越えるため、専門家派遣や講習会等を活用した支援を強化しています。お気軽にご相談ください。



※((良数値÷対象数)×100)-((悪数値÷対象数)×100)=D.I値

## 業界からのその他のコメント

### ● 製造業

食料品（水産物加工業）	特注があったため前年同月と比べ売上げは105.2%となった。
食料品（洋菓子製造業）	店舗拡大効果によって前年同月と比べ売上げは105%となった。
食料品（パン・菓子製造業）	前年同月と比べ商品価格を25%ほど値上げし、収益状況は20%好転した。お土産商品の売れ行きが好調である。
食料品（酒類製造業）	ワイン業界の市況は低迷しているが、新規参入する零細事業者（小規模ワイナリー）が増えているため、各社の売上げを注視している。
繊維・同製品（織物）①	OEM生産に加え自社ブランドの生産・販売体制を強化し、海外展示会への出展を計画している。またネット販売やふるさと納税返礼品の需要増加の波に乗って、国内販売の売上げも伸ばしていきたい。
繊維・同製品（織物）②	輸入原材料の価格上昇分を販売価格に転嫁できておらず、クールビズやビジネスカジュアルの潮流によって裏地・ネクタイ部門は厳しい状況であり、商品の付加価値をどのようにして高めていくかが今後の課題である。
木材・木製品製造	戸建て住宅着工数の減少によって、前年同月と比べて売上げは▲34%となった。木材価格も高止まりしており、この状況がいつまで続くのか先行きは不透明である。
窯業・土石（砂利）	前年同月と比べ売上げは▲10%、収益状況は▲5%となった。骨材単価を値上げしても製造に係るすべてのコストが上昇しており、収益状況が悪化している。
鉄鋼・金属（金属製品製造業）	前年同月と比べ売上げは3%増加したが、材料費の値上がりによって収益確保が困難な状況が続いている。
一般機器（業務用機械器具製造業）	前年同月と比べ売上げは▲20%、収益状況は▲18%となった。円安進行や物価高騰によって業界全体で厳しい状況が続いている。
電気機器（電気機械部品加工業）①	大規模の改修工事が発注されており、共同受注が出来ないか現在検討中である。今後の大型物件受注のモデルケースにしたいとも考えている。
電気機器（電気機械部品加工業）②	前年同月と比べ収益状況は5%好転した。半導体関連の受注量は底打ち感があるため夏以降から年末にかけて状況は好転するほかないと予測しているが、製造業全体で厳しい状況は変わらない。
宝飾（研磨）	6月に香港で展示会が開催されたが、昨年と比べ盛り上がりには欠けた。
宝飾（貴金属）	前年同月と比べ売上げ・収益状況ともに▲50%となった。金・プラチナの価格が安定するまでは厳しい状況が続く。

### ● 非製造業

卸売（ジュエリー）	円安進行・原材料価格高騰によって、製造原価が前年と比べ50%ほど上昇している。価格転嫁が進まず収益状況は悪化する一方である。 6月に香港で開催された展示会での売上げは昨年と比べて半減し、中国景気低迷の影響を感じている。
小売（青果）	前年同月と比べ売上げ▲10%、収益状況は▲6%となった。馬鈴薯・玉葱が異常な高値であり、桜桃も不作であった。今後の桃・ぶどうの売れ行きに期待している。
小売（食肉）	円安進行や中東紛争・自然災害の影響によって輸入食肉の価格が高騰している。施設利用料の値上がりによって販売先である宿泊施設の予約状況も伸び悩んでいる。
小売（電気機械器具小売業）	気温上昇の影響によってエアコンの売上げが前年同月比20%アップしたが、冷蔵庫については前年並の売れ行きとなった。
情報サービス業	前年・前月と比べて特に変化はない。
宿泊業	物価高騰によって宿泊料金の見直しを行う事業者が多い。 イベントの増加によって週末の稼働状況が好調であり、これから観光のトップシーズンに入るため、観光客（特にインバウンド）の獲得に力を入れていきたいと考えているが、需要に応えられるだけの人員・体制を構築できるか懸念している。
美容業	高齢化を理由に脱退する組合員が増えている。
産業廃棄物処理	円安の進行や燃料費の高騰、最終処分場の受入制限及び処分費の値上げ、設備投資、設備増強に係る費用の増加、運送業界の2024年問題への対応など業界全体で課題が山積みである。
一般廃棄物処理	事業系一般廃棄物の契約料金の値上げ交渉について、組合員企業が排出先事業者と交渉を持ちかけた結果、提示した見積額以下の他事業者の見積りがあることを理由に、協議も行わず値上げ交渉は決裂し、契約解除となった。近年このような事例が多く今後の動向を注視している。
警備業	働き方改革の影響によって雇用人員は減少傾向である。アルバイト希望者は多いが、正規従業員の雇用は厳しい状況が続いている。 また、警備単価上昇などの影響によって売上げは増加している。（前年同月と比べ4%増加）
自動車整備業	車検台数について、普通車:14,459台（前年同月比+318台） 軽自動車:11,425台（前年同月比+602台）となった。 ※集計の都合上、5月末の数値 車検について、年度末の混雑緩和と自動車整備士の働き方改善のため、来年4月より車検証の有効期間満了日の「2か月前」から車検を受けることができるようになる。（現在は有効期間満了日の1か月前から満了日までの間）
建設業（総合）	6月の県内公共工事は、前年同月に比べ件数は▲0.7%となったが請負金額は19%増加した。6月末の累計件数は7%、請負金額は3%それぞれ増加した。
建設業（型枠）	地域によって請負金額に格差があり、首都圏では価格転嫁が進んでいることから、組合内では東京まで仕事に行く事業者もある。国中地域でも仕事はあるが請負単価が安く、厳しい状況が続いている。
建設業（鉄構）	取引先が大手かどうかによって工場の仕事量が二極化している。また材料等の価格上昇分の転嫁が進まず、元請が入札したものの価格面の折り合いがつかず不調になるケースが増えており、ゼネコンの図面指示遅延の影響で手持ちとなる工場も増えている。
設備工事（管設備）	前年同月と比べ売上げは8%増加したが、収益状況は2%悪化した。ポリ塩化ビニル・化成品類など、管設備資材の仕入価格が上昇し続けている。
運輸（タクシー）	甲府市では、70歳以上の高齢者の買い物・通院等を支援する目的で「デマンド型タクシー」の実証運行を行っている。（7月～11月の平日） 支援地区は大里・相川地区であり、自宅と甲府市指定の目的地区間内など利用制限があるが、交通弱者にとって身近な移動手段として利用者増加に期待している。
運輸（バス）	受注量はコロナ以前よりも増えているが、ドライバー不足のため断るケースが増えている。
運輸（トラック）	気温上昇とともに飲料水や青果物の出荷が増え、輸送需要が高まっている。 時間外労働の上限規制によって労働力確保が喫緊の課題となる中で、運送業界への就職者が徐々に増加傾向である。

## 第71回「年次大会」関東甲信越静地区印刷協議会 in 山梨

山梨県印刷工業組合



山梨県印刷工業組合（組合員：33名）依田理事長が、会長を務める関東甲信越静地区印刷協議会（関東10県の印刷工業組合で構成）は、7月5日（金）韮崎市のシャトレゼホテルにらさきの森で、第71回年次大会を開催した。

各県の印刷関係者と来賓・賛助会員など約200名が出席した年次大会では、記念式典・懇親会に先駆け、第一部で上期地区印刷協議会の全体会議、分科会、全日本印刷工業組合連合会の事業報告等が行われ、「価格競争から価格協創へ～Happy Industry人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷業を目指して～」をテーマに価格協創のエコシステム作りを目標とした各社のCSR経営の推進、収益性の向上、経営基盤の強化などが協議され、組合強靱化に繋がる今後の諸事業などが情報共有された。



あいさつをする  
依田訓彦理事長

全体会議で依田会長は、「コロナ禍も終わり人々の動きはかなり回復してきました。過去最高益となる大手企業決算や設備投資の増加、賃上げの実施、日経平均株価最高値など日本経済も新たな局面を迎えつつあります。しかし、印刷業界は原材料費の高騰、エネルギー価格の高止まり、労務費の上昇等に対して、未だ対価に反映出来ず、さらに社会のデジタルシフトによる需要変化によって苦境が続いております。今後の印刷業界ではそのような経営環境において、不毛な価格競争から互いを高めあう価値づくりの競争へ、そして差異化出来た会社同士が価値を協創する新たなエコシステムを構築する必要があります。」とあいさつを行った。

記念式典では、山梨県印刷工業組合依田理事長の開式のあいさつに続き、国歌を斉唱、印刷産業人綱領の唱和。長崎幸太郎県知事、本県選出国會議員、栗山直樹県中小企業団体中央会会長の祝辞の後、退任役員に感謝状が贈呈された。

懇親会では来賓として韮崎市内藤市長や甲府商工会議所進藤会頭が祝辞を述べ、関東甲信越静地区の参加者が交流を深めた。

懇親会では来賓として韮崎市内藤市長や甲府商工会議所進藤会頭が祝辞を述べ、関東甲信越静地区の参加者が交流を深めた。

懇親会では来賓として韮崎市内藤市長や甲府商工会議所進藤会頭が祝辞を述べ、関東甲信越静地区の参加者が交流を深めた。



## 令和6年度 通常総会を開催

～新会長に長谷川正一郎を選出～

山梨県食品産業協議会



通常総会の様子

山梨県食品産業協議会（会長 武田信彦）は、令和6年7月8日に山梨県信用保証協会の会議室において、令和6年度通常総会を開催した。冒頭、あいさつした武田会長は、「物価高騰のおり、食品業界を取り巻く環境は厳しい」として、人材確保や賃金の上昇への対応、県外・海外展開を含めた販路開拓など、食品製造業者が直面している経営課題を解決する不断の取り組みが経営の持続化に繋がると述べた。

今総会では任期満了による役員改選が行われ、新会長に長谷川正一郎氏（山梨県漬物協同組合 理事長）が就任し、副会長に小野曜氏（山梨県パン協同組合 理事長）、天野怜（山梨県酒造組合 会長）の2名が選出された。前会長の武田信彦氏（山梨県

味噌醤油工業協同組合 理事長）は、理事に選出された。長谷川新会長は、「販路開拓に注力したい。国内市場はもとより、海外展開について積極的に取り組んでいる業界がある一方、信頼できる海外バイヤーの獲得や製品PRの手法等、課題を抱えている企業が多い。1社で悩まず協議会を通して課題解決が図られるよう尽力していきたい。」と抱負を述べた。

同協議会は、農水省の指導により、地域農水産物の利用の高度化を図るとともに、山梨の食品産業の振興を積極的に推進し、一般消費者の食生活の安定向上と本県経済の発展に寄与することを目的として、昭和63年3月に発足。会員は、食品製造業者が構成する業界組合、11団体（正会員）、関係先等7団体（賛助会員）計18団体で設立された。平成21年度より、山梨県中小企業団体中央会が事務局を担当している。



武田前会長(左)と  
新たに会長に就任した  
長谷川正一郎氏(右)

## 日頃の感謝を含め工業団地で夏まつりを開催

～各社が工夫を凝らし模擬店を出店～

協同組合国母工業団地工業会

協同組合国母工業団地工業会(小野健一理事長/組合員:25名)は7月17日(水)国母公園グラウンドにおいて第46回夏まつりを盛大に開催した。

当日は、梅雨明け前ではあったが天候に恵まれ、午後6時に吉本興業所属の芸人「いしいそうたろう」の司会で開会し、小野理事長から夏まつりが関係者の協力のもと無事開催できたことに対して感謝のあいさつがあり、続いて来賓のあいさつと来賓の紹介が行われ夏まつりが開会した。

ステージイベントでは「カラオケのど自慢大会」や「ラッキーくじ抽選」など夏まつり参加者に喜んでもらおうと創意工夫された企画が行われ、大いに夏まつりを盛り上げるものとなった。

カラオケのど自慢大会では、組合員の従業員が



開会セレモニーの様子

自慢の歌声とパフォーマンスを披露し、ゲストで招かれた「やまなし大使」で県内でも活躍しているシンガーソングライターの神部冬馬が歌を披露し、観客から大きな歓声を浴びていた。

この夏まつりは、組合員の福利厚生事業の一環として開催され、組合員の従業員や家族をはじめ地元住民との親睦交流の場として組合設立当時から開催されているもので、組合のイベントとしてだけでなく、今では地域の皆さんも楽しみにしている恒例のイベントとなっている。

今回46回を迎えた会場には、組合員の従業員とその家族や近隣住民を含め大勢の参加者があり、各組合員が工夫を凝らした飲食等の模擬店が採算度外視で多数出店し、参加者は祭りを楽しんでいた。



にぎわいをみせる会場の様子



## 全国の組合青年部と交流を深める

～全国青年中央会 通常総会・関東甲信越静岡ブロック代表者会議に参加～

山梨県中小企業団体青年中央会

山梨県中小企業団体青年中央会(千野悟会長/会員:22組合青年部)は6月21日(金)大阪府で開催された、「2024年度全国中小企業青年中央会 通常総会」に参加した。今年度は全国から約500名が参加した。

総会では、令和5年度の事業報告および決算報告、令和6年度の事業計画および収支予算が審議され、いずれの議案も承認・可決決定した。

総会後は、「個人の知識・経験に依存しており組織全体でノウハウが共有されない」、「従業員の急な欠勤や離職によって業務が滞ってしまう」など、少数精鋭の中小企業者にとって切っても切り離せない課題である“業務属人化”の解消をテーマとして、各県青年中央会の代表者による意見交換会が開催された。異業種による意見交換の中で、「複雑な業務工程を分解し、省略できる業務がないか見直している」、「デジタルツールを活用しながら業務マニュアルの作成や進捗状況を管理している」など、様々な取り組みが



交流懇親会に参加しました

紹介され、参加者は自社の業務改善に活かすヒントを得ることができた。

また、7月5日(金)には栃木県で開催された「関東甲信越静

ブロック中小企業青年中央会代表者会議」に参加した。

各都県の青年中央会が意見交換を行う代表者会議の終了後には、(株)デイリーファーム富士山 代表取締役 高橋 雄幸 氏による「チーズを通じた地域活性化を実現する産地戦略」をテーマとした講演会が開催された。高橋氏のチーズは、多くの国際的コンテストで入賞し、JAL国際線ファーストクラスの機内食にも採用されるなど国内外で高い評価を得ており、「より地域の個性を生かしたチーズを作りたい」と妻の実家が経営する牧場から独立した当時の思いや将来の目標などについて語られ、参加者は熱心に聞き入っていた。



全国の組合青年部代表者が集まりました



※青年中央会では、全国の組合青年部との交流イベントを実施・参加している他、県内の組合青年部間の交流や企業活動を続けていく上で直面する課題解決のための講習会を実施しています。青年部活動についての相談は 連携組織課 (TEL:055-237-3215) までお気軽にお問い合わせください。



# ギネス認定 世界最古の宿を守り続ける

～初めて創業者一族以外から社長に 五十三代目当主の挑戦～



株式会社西山温泉慶雲館

- ☑ 代表取締役…53代目当主 川野 健治郎 氏(早川地域づくり事業協同組合代表理事)
- ☑ 業 種…宿泊業
- ☑ 所 在 地…南巨摩郡早川町西山温泉
- ☑ 創 業…西暦705年(慶雲2年)

さかのぼること飛鳥時代、慶雲2年に藤原真人(ふじわらのまひと、藤原鎌足長男)により開湯され、慶雲館と名付けられたとされる当館は、1300年余の歴史があり、世界最古の宿としてギネスに認定されています。毎分250ℓ自噴する旧源泉と毎分1600ℓ自噴する新源泉は日本随一の湧出量を誇り、客室のお風呂や給湯・シャワーまで源泉かけ流しが魅力です。また、日本一人口の少ない町・早川町の自然豊かな奥山のロケーション、甲州牛や山と川の地のものを使った郷土料理(深山会席)でもお楽しみいただいています。

先代の52代目までは創業家からの社長でしたが、同族に後継者がおらず7年前に次期社長を打診されました。歴史ある旅館を引き継ぐ重圧や家族からの反対もありましたが、25歳で入社して「できないは言わない、言われたことは何でもやる」を念頭に従事してきた自負とご縁を感じ引き受けました。

社長就任と同時に有限会社から株式会社へ組織変更し、自然災害や感染症などの危機に負けない観光旅館の土台・礎づくりの改革に取り組んでい



ます。売上至上主義から利益至上主義へ、まずは繁閑期の客室稼働率平準化に取り組み、コロナ禍の期間には経営数値の分析と試行錯誤を重ね、損益分岐点と適正規模の面から客室数を35から22とし、減らした客室は食事処にしました。また私は入社以来、客室担当やフロント、営業、経理、調理など全ての旅館業務に従事してきた豊富な経験がありますので、培った観光サービスの基本とおもてなしの心を社員に伝承しつつ、人材育成にも励んでいます。

同郷(宮崎県)の上杉鷹山の「為せば成る、為さねば成らぬ、何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」を座右の銘に、先代の教えである「旅館には経営者の感性が現れる、感性を磨くこと」、「他の事業に手を出さず旅館の親父を徹底すること」を守り、歴史ある慶雲館をこの先もずっと存続させることを使命として、今後も強固な基盤づくりに取り組んでまいります。

同郷(宮崎県)の上杉鷹山の「為せば成る、為さねば成らぬ、何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」を座右の銘に、先代の教えである「旅館には経営者の感性が現れる、感性を磨くこと」、「他の事業に手を出さず旅館の親父を徹底すること」を守り、歴史ある慶雲館をこの先もずっと存続させることを使命として、今後も強固な基盤づくりに取り組んでまいります。

## 「慣例」で組合運営していませんか？

～組合実務講習会で組合運営を再点検！～

中央会では、組合で実務を担当している事務局役職員を対象に「組合実務講習会」を実施している。講習会は組合運営や管理で必要となる「組合法・団体法」「定款」「総会・理事会の運営」「登記」「各種届出義務」のテーマごとに計5回実施し、それぞれのポイントや注意しなければならない事項などを学んでもらうことにより、組合事務局の実務能力の向上や組合事業の円滑な運営に活かしてもらうことを目的としている。

講習会は平成16年から毎年6～7月に実施しており、その講師は中央会の指導員が務めている。指導員として培ってきた組合支援の経験を交えた説明を行うことで、受講者は法律や定款の意味、必要性についてより深く理解することができる。

定款に関する講習会では、参加者が所属する組合の定款を持参し実際の実務と照らし合わせることで、定款どおり運営が進められているか受講者自身でチェック



熱心に学ぶ組合役職員

してもらった。慣例により行っていた実務が実は定款に沿ったものになっていなかったな

ど、受講者は組合実務の再点検を行うことができた。

組合支援を行う中で組合の運営方法が慣例により行われており定款に沿っていなかったという事例は多々あり、そのような場合では組合運営上のトラブルが起きやすい傾向にある。そうならないためにも、この講習会で受講者自身が組合実務の再点検を行う意義は非常に大きい。

講習会は来年も実施する予定なので、組合実務の意味を理解した上で組合運営を行いたい組合役職員の方々はぜひご参加ください。



担当:仲澤



担当:宮川



担当:河野

中央会ではこの講習会のほかにも、11月には中小企業組合士の資格取得を目的とした「組合士講習会」も開催しています。中小企業組合士とは、組合の運営管理を行う上で必要な知識に関する試験の合格者に対して全国中央会から与えられる資格です。組合の運営管理を学ぶことでより安定した組合運営を実現できますので、組合事務局の方はぜひ中小企業組合士の資格取得にもチャレンジしてみてください。中央会職員が皆様の資格取得を一生懸命にサポートさせていただきます。

やまなし

ものづくり

最前線!

中央会では、国が行う「ものづくり補助金」の山梨県地域事務局として、試作開発等に取り組み事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、「ものづくり補助金」を活用し、新たな事業展開のための試作開発に取り組んでいる事業者を紹介します。



## 高出力レーザー溶接機の導入による ハイジュエリーの生産性向上

株式会社 太滝

代表取締役 太滝 日緑 氏

ジュエリーの製造や加工等を行う株式会社太滝(甲府市後屋町)は2015年に創業。

取引先からは品質の高さが評価され、一般的なジュエリーと違って在庫を持たないブライダルジュエリーや、ハイエンド(高級)ジュエリーも手掛けているが、小売店や修理店からサイズ直しを中心としたジュエリーリフォームの依頼も多く、売上げの約2割を占めている。

同社で行うジュエリーリフォームの溶接は、主に①サイズ直し共付け溶接(パーツ溶接)②気泡穴埋め溶接③キズ埋め溶接の3種類があり、特に①は全体の50%に上る。

サイズ直し共付け溶接とは、リング(指輪)のサイズ直しの場合、溶接前にまずリングを切断する。次の工程で、他社では「ロー材」と呼ばれる、地金よりも融点が高い合金を使用して溶接するやり方と、中を空洞にして表面だけを溶接するやり方がとられているが、前者は表面に段差が付きやすい上、地金の純度も落ちてしまい、後者は段差を付かないが強度が落ちるといったデメリットがある。

そこで同社は、強度や品質を確保するために、本体と同じ地金を使用して溶接する独自の加工方法を考案した。接合部に本体と同じ地金を使用することで、中に空洞を作らず強度を確保できる。さらに表面仕上げは顕微鏡を使い、よりきれいに磨き上げる。

ただ、既存のレーザー溶接機は出力不足のため、リングの切断面の中心まで光が届かず、作業時間もかかるため、切断面をあらかじめ斜めに削っ

ておく必要があり、その工程が大きな負担となり、効率の悪さにつながっていた。また溶接面が波紋状になるなど同機の加工品質も低かった。

この課題を解決するために、高出力レーザー溶接機「Desktop7004」を導入。これにより



導入した高出力レーザー溶接機

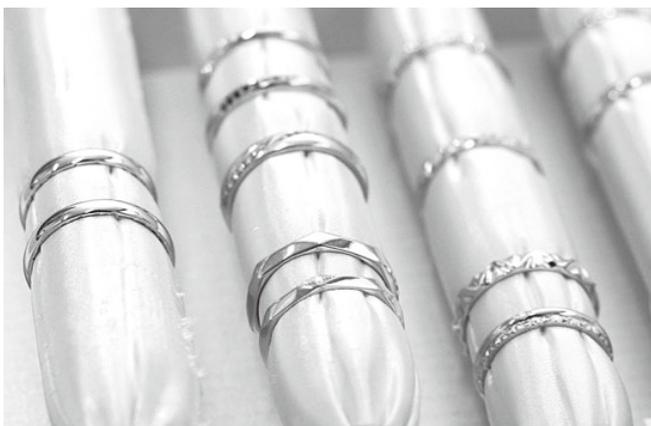
リングの切断面の中心までレーザーが届くようになり、削り工程は不要となった。また、溶接面が平面の円になることで溶接する面積が減少するため、大幅に作業効率が向上した。

検証では、溶接作業の時間短縮については目標▲50%に対して実績▲58.4%、待ち時間の短縮については目標▲50%に対して実績▲89.1%と、いずれも計画時の目標値より良好な結果が得られた。太滝日緑社長は「非常に満足しています。待ち時間も作業効率も向上し、現場の職人たちも喜んでいきます。」と表情を和ませる。

太滝社長は「業界は労働環境が厳しく、賃金面でも昇給はほとんどなく、将来に夢を持つことができない。当社は、働く人が将来に夢を描ける会社になりたい。」そんな思いから、雇用と労働環境の整備、改善に努めた。この取り組みが実を結び、同社には若い世代が次々と入社、2021年には、働きやすい職場づくり等を進める企業を県が表彰する「YAMANASHI ワーキングスタイルアワード」で奨励賞を受賞した。

同社の理念は「豊かな社員が豊かな社会をつくる」であるが、宝飾は山梨の地場産業であるにも関わらず、近年は職人を希望する若者が減り、現在働いている人の半数は県外出身者だという。太滝社長は「若い職人を育成し、定年まで働ける環境を築きたい。さらには宝飾業界全体を盛り立てていけたら。」と話す。

将来的にはOEMだけでなく、利益率の高い自社商品の開発や、より大きな市場を目指し、中国に進出することも検討している。



品質の高さに定評のある同社のジュエリー

新規事業展開やDX推進等の人材育成に「人材開発支援助成金」が活用できます

「事業展開等リスキリング支援コース」のご案内

人材開発支援助成金は、事業主が雇用する労働者に対して訓練を実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度です。「事業展開等リスキリング支援コース」では、新たな事業の立ち上げなど事業展開等に件い必要となる知識および技術を習得させるための訓練を助成の対象にしています。

支給対象

**対象者** 事業主：雇用保険適用事業所の事業主  
労働者：雇用保険被保険者

- 訓練**
- ① 訓練時間数が10時間以上であること
  - ② OFF-JT(企業の事業活動と区別して行われる訓練)であること
  - ③ 職務に関連した訓練で、以下のいずれかに該当する訓練であること

- i. 企業において事業展開を行うにあたり、新たな分野で必要となる専門的な知識および技能の習得をさせるための訓練
- ii. 事業展開は行わないが、事業主において企業内のデジタル・デジタルトランスフォーメーション(DX)化やグリーン・カーボンニュートラル化を進めるにあたり、これに関連する業務に従事させる上で必要となる専門的な知識及び技能の習得をさせるための訓練

注：本コースでは、事業展開などの内容を記載した「事業展開等実施計画」(様式第2号)を職業訓練実施計画届と併せて提出する必要があります。取り組み内容を整理し、具体的な記載ができるよう、事前に準備をお願いします。

注：「事業展開」は、訓練開始日から起算して、3年以内に実施する予定のものまたは6か月以内に実施したものである必要があります。

**参考** 事業展開の例：新商品や新サービスの開発、製造、提供または販売を開始する等  
デジタル・DX化の例：ITツールの活用や電子契約システムを導入し、社内のペーパーレス化を進めた等  
グリーン・カーボンニュートラル化の例：農薬の散布にトラクターを使用していたが、ドローンを導入した等

助成率・助成額

① 助成率・助成限度額

経費助成率		賃金助成額(1人1時間)		1事業所1年度あたりの助成限度額
中小企業	大企業	中小企業	大企業	
75%	60%	960円	480円	1億円

② 受講者1人あたりの経費助成限度額

10時間以上100時間未満		100時間以上200時間未満		200時間以上	
中小企業	大企業	中小企業	大企業	中小企業	大企業
30万円	20万円	40万円	25万円	50万円	30万円

注：e-ラーニング、通信制、定額制サービスによる訓練は経費助成のみです。

詳しくは厚生労働省の「人材開発支援助成金」ページをご覧ください。

URL

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)

QRコード



情報BOX1

第53回

中央会親睦

ゴルフコンペ開催

のお知らせ

令和6年  
10月8日(火)  
8:30~



1 開催日時

2 開催場所

北の杜カントリー倶楽部  
(北杜市長坂町中島4402)

3 参加費

3,000円

4 個人精算

12,100円 ビジター参考  
(プレー代・昼食代・諸経費含む)

5 募集定員

64名(16組)

6 申込方法

会員様あてにお送りした開催通知に  
あります「参加申込書」により  
受付いたします。



皆様のご参加をお待ちしております。

情報BOX2

令和6年度 中小企業組合士検定試験

組合運営の  
エキスパート

中小企業  
組合士

めざせー！  
1組合1組合士



をご存知ですか



中小企業組合士とは

組合運営に携わる役職員の方が職務を遂行する上で、必要な知識に関する試験を行い、資格合格者の中から一定の実務経験を持つ方に、中小企業組合士の称号を与える制度です。

- ① 試験日: 令和6年12月1日(日)
- ② 試験科目: 組合会計・組合制度・組合運営  
(合格科目は3年間有効)
- ③ 受験会場: 全国中小企業団体中央会 他
- ④ 受験料: 6,600円(一部科目免除者は、《一科目》4,400円  
《二科目》5,500円)
- ⑤ その他: お申込方法など詳しいことは中央会・連携組織課までお問い合わせ下さい。

TEL 055-237-3215

情報BOX3

60年で加入企業 **110万社** 以上の実績!

退職金は、国がサポートする **中退共制度** をご活用ください。

**安心**

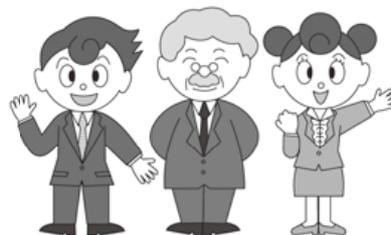
確実な退職金支払  
安心の資産運用

**簡単**

外部積立型で管理が簡単  
退職金試算額もお知らせ

**有利**

掛金は全額非課税  
掛金の一部を国が助成



従業員の働く意欲の向上に!



詳しくはホームページ  
をご覧ください。

事業主と生計を一にする同居の親族のみを雇用する事業所の従業員も、一定の要件を満たしていれば加入できます。



(独)勤労者退職金共済機構  
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1  
TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

第44回山梨県障害者技能競技大会



障害のある方々が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の方々が障害のある方々に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的に開催する大会です。

一般見学・応援が自由にできますので、ぜひご来場ください！

**日程** 2024年10月6日(日)10時～15時

**競技内容** ○ワード・プロセッサ ○データ入力  
○表計算 ○オフィスアシスタント  
○ビルクリーニング ○喫茶サービス

**会場** ポリテクセンター山梨(甲府市中小河原町403-1)  
(\*駐車場有)

**大会詳細情報** ○アビリティピックやまなし2024 ▼HP  
<https://www.jeed.go.jp/location/shibu/yamanashi/abilympic.html>

お問い合わせ先

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
山梨支部 高齢・障害者業務課 TEL:055-242-3723

採用



ものづくり支援センター  
アドバイザー

**藤澤 靖博**  
(令和6年6月3日付)

退職

総務課 主事

**浅野 茉由** (令和6年6月30日付)

ものづくり支援センター アドバイザー

**望月 敏行** (令和6年7月5日付)

山梨県中小企業団体中央会が  
推進する

自動車共済

団体割引  
10%!

関東自動車共済協同組合

山梨県支部

甲府市飯田4-4-2 自動車共済ビル

TEL 055-237-8331

日本政策金融公庫からのご案内 JFC 日本政策金融公庫  
国民生活事業

「事業資金」のお知らせ

新型コロナウイルス感染症特別貸付のご案内

ご融資額8,000万円以内  
返済期間 運転20年

ご相談は甲府市店が承ります。  
お気軽にご相談ください。

「国の教育ローン」をご存じですか？

制度創設以来、40年以上の歴史を  
持つ公的な融資制度です。

融資限度額 ※お子さま1人につき/一定の要件に該当する場合/  
上限350万円 上限450万円



「国の教育ローン」3つのポイント

- 1 固定金利  
年2.40%  
令和6年7月1日現在  
最長18年の  
長期返済
- 2 ご家庭の状況  
に応じた  
優遇制度
- 3 (公財)教育資金  
融資保証基金  
による保証

●お借入時の金利が  
完済まで変わらない  
固定金利を採用し、  
返済期間は最長18  
年までと長期です。

●「国の教育ローン」は、  
母子家庭、お子さま  
が3人以上の世帯な  
どを対象に、金利の  
低減などの優遇制  
度があります。

●「国の教育ローン」で  
は、公益財団法人教  
育資金融資保証基  
金による保証をご利  
用いただけます。

JFC 日本政策金融公庫  
国民生活事業

日本公庫は、民間金融機関の取組み  
を補完し、事業に取組む方々等を支  
援する政策金融機関です。

日本政策金融公庫 甲府支店  
国民生活事業

〒400-0031 甲府市丸の内2-26-2  
Tel: 0570-042086